

昨年の急逝を悼む

自然への畏敬を描き続けた 菅原健彦の回顧展

菅原健彦展「流転」

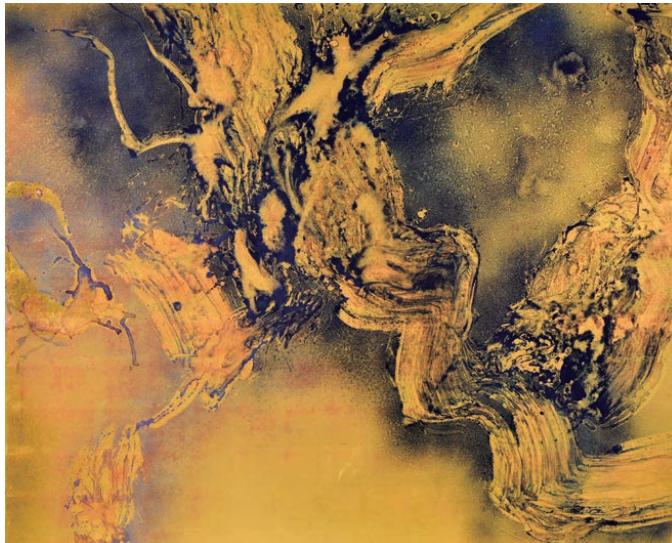
会期 開催中～2月8日(日)

会場 ギャルリーためなが

東京都港区南青山6-5-39

03(3573)5368

岩抱き杉 (いわだきすぎ)
130×162cm



窓杉
162×130cm



ギャルリーためながでは、昨年62歳で急逝した画家・菅原健彦の回顧展「流転」を開催する。昨秋に予定されていたパリでの個展に向け、新たな表現を模索していた最中に旅立った菅原が、最期に思い描いていた新境地の作品を紹介。東京生まれの菅原は多摩美術大学で日本画を学び、山梨

で出会った神代桜を契機に、自然の圧倒的な生命力を主題としてきた。伝統的な日本画技法に裏打ちされた大胆かつ繊細な画面には、自然への憧憬と畏敬が満ちている。2011年から最晩年までの代表作を一堂に集めた本展は、その創作の軌跡と到達点を静かに物語る。